



淺野邸に催された三會主催の萬國工業會議出席者中土木關係者の午餐會列席者

土木學會、港灣協會、道路協會

三會主催の W. E. C. 海外出席員招待會

萬國工業會議に出席せる外國技術家と我が土木學會、港灣協會、道路協會關係の權威者百數十名が昨年11月4日芝區淺野總一郎氏邸の紫雲閣に於て午餐會を催し歡談を交した事は時節柄注目すべき事である。

當日は百餘臺の自動車が淺野邸につめ懸けて交通整理の警官も一時惱まされた。

三會長の挨拶は水野鍊太郎博士が代表して説べられた。

寫眞は前より2列目の左より3人目が淺野總一郎氏、4人目が水野鍊太郎博士、6人目が田邊朔郎博士、松波仁一郎博士、1人置いて中川吉造博士である。

37頁よりつづく

ぶ名前があります。之は前述の成因的の分類とは違つて、岩石を化學的の成分の相違から分けた名稱であります。例へば(a)に當る花崗岩と石英粗面岩とは、何れも石英質に富み硅酸量を多量に含む爲、吾々は斯る種類の岩石をば、之を總稱して酸性岩と呼びます。又(d)

に當る斑禰岩や玄武岩の如く、輝石、角閃石の如き黑色礦物を含み、その爲硅酸量を含む事甚だ少き種類のものをば、鹽基性岩と呼びます。(c)に當る閃綠岩、安山岩の如きは、何れも兩者の中間に屬するもので、之を通例中性岩と呼びます。(以下次號)